学校番号	319

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（東京書籍）						
副教材等	自主作成プリント　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育みましょう。
・漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に親しむ活動を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深めます。
・様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に個性的に自己を表現する能力を高めます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を高めながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書道Ⅰで学んだことを生かし、個性的･効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について理解し、書のよさや美しさを分析的・総合的に鑑賞し、創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	漢字の書 篆書「石鼓文」臨書 隷書「乙瑛碑」臨書	・篆書、隷書の用筆法の練習 ・身近な隷書を学ぶ			○	○	a:篆書、隷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆書、隷書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:篆書、隷書の歴史を知り、また、身近にある隷書とそのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・提出作品
	漢字の書 漢字仮名交じりの書 うちわ制作	・うちわに合う言葉選びと表現の学習 ・うちわの骨からうちわを制作する ・批評会をする		○	○		a:言葉の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
2	コンクール出品作品の練習・制作	・半紙作品の制作 ・自分に合う古典、および創作題材を選んで制作する		○	○		a:コンクール入賞をめざして意欲的に取り組もうとしている。 b:自分の技能に適したものを選択し表現を工夫しようとしている。 c:臨書、創作において半紙作品として制作できている。 d:自らの作品を鑑賞し、よりよくなるよういかすことができる。	・観察 ・ワークシート ・提出作品

2	木彫	・漢字一字または表札の刻字作品の制作をする ・彫り方、彩色、仕上がり、立体的な美の学習	○		○		a:漢字の書の創作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に至るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、立体として引き立つ字形や用筆等を考え個性的な表現を工夫している。 c: 感興や意図に応じた表現を構想し、古典の字形や用筆等を参考に個性的な表現をすることができる。 d:書の美を構成する要素を理解している。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
3	仮名の書、大字仮名創作	・半切二分の一に大字仮名を制作する ・連綿の学習、練習 ・集字の仕方、創作に生かす ・印を押す ・表装の学習	○		○		a:仮名の美しさについて関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:大字仮名の用筆法や墨色、多用な連綿を使った構成について理解し、表現を工夫している。 c:大字仮名の筆使いや墨の扱い方を身に付け表現している。 d:墨色や構成の技法を理解し、そのよさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	１年の振り返り	全作品を見直して自己評価				○	a:1年間の学習について、主体的に振り返ろうとしている。 b:振り返りを通して、書を愛好する心情を育てられるよう、工夫している。 c:自らの学習したことを振り返り、言葉にできる能力が身についている。 d: 学習の振り返りを通して、書のよさや美しさを再確認している。	・観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。